

# 令和5年度地方自治体における情報システム(生活保護)の 標準仕様書改訂に向けた調査研究業務一式 第1回検討会 議事概要

日 時：令和5年6月27日(火) 10:00～11:30

場 所：オンライン開催

出席者(敬称略)：

(構成員)

武蔵大学社会学部教授 庄司昌彦、地域情報化研究所 代表取締役 後藤省二、福岡県、横浜市、仙台市、柏市、佐世保市、東大阪市、横須賀市、館山市、町田市、三鷹市、中野区、新宿区

(オブザーバー)

北日本コンピューターサービス株式会社、富士通 Japan 株式会社、株式会社アイネス、株式会社 IJC、株式会社法研、総務省、デジタル庁、厚生労働省政策統括官付情報化担当参事官室、厚生労働省社会・援護局保護課

(事務局)

アビームコンサルティング株式会社 (以下、アビーム)

## 【議事次第】

1. 開会
2. 議事
  - (1) 出席者紹介
  - (2) 令和4年度の検討の振り返り
  - (3) 令和5年度検討会実施概要の説明
  - (4) WT (ワーキングチーム) の構成の説明
  - (5) 自治体からの意見収集
3. 閉会

## 【配布資料】

資料1 第1回生活保護システム等標準化検討会 事務局資料

資料2 生活保護システム等標準化検討会 構成員名簿

資料3 生活保護標準化検討会委員参加 WT 割り振り表 (案)

## 【議事概要】

<主な意見交換の概要>

■議事(1)について

○ 特段意見なし。

■議事(2)について

- 資料 1 の 5 ページの継続検討課題 7 番について、各自治体は独自の口座振替依頼のフォーマットを使用していると認識しているが、全国銀行協会のフォーマットに統一する方向で、デジタル庁経由で金融庁と調整を進めていただきたい。(後藤様)  
→ 承知した。(アビーム)
- 資料 1 の 6 ページの継続検討課題 6 番について、納付書のレイアウトに関連して用紙の色を指定する金融機関が存在すると認識しているが、納付書のレイアウト調整とは、用紙の色指定などについても議論を行う想定か。(東大阪市)  
→ 納付書の用紙の色指定については、デジタル庁の横並び方針や他省庁の検討状況を踏まえて検討を進めていく。(アビーム)

■議事(3)について

- 資料 1 の 11 ページについて、制度改正の適用の 1 年前までに、制度改正の見直し内容を反映した標準仕様書を公表すると記載があるが、制度改正の適用開始日までに、自治体は更新したシステムの導入を行う必要があるという認識でよいか。(新宿区)  
→ 資料に記載されているのは、標準仕様書の改訂に対する基本的な考え方であり、実際には制度改正の内容によって、対応時期を調整していく。(厚労省)  
→ 資料 1 の 11 ページに記載されているのは原則であり、例外的な状況はあると認識しているため、制度所管省庁とデジタル庁とで、仕様書の改訂に対する、自治体の対応スケジュールについて協議を行っていききたい。(デジタル庁)  
→ 承知した。制度改正適用の 1 年前に標準仕様書の改訂が行われた場合、システムの更新契約における予算確保に影響があると認識している。自治体の予算確保のスケジュールを踏まえて、標準仕様書改訂内容の反映と制度改正適用のスケジュールは検討していただきたい。(新宿区)
- 資料 1 の 10 ページについて、全国意見照会の実施プロセスが、厚生労働省から都道府県を経由し、各市区町村に意見照会を行うこととなっている。DX の視点から、都道府県を経由しない照会方法を検討していただきたい。(後藤氏)  
→ 全国意見照会までに期間もあるため、効率的な照会方法について、他省庁の事例を参考に検討を進めていく。(アビーム)

■議事(4)について

- 資料 1 の 18 ページについて、監査 WT は監査業務をシステム化し業務の効率化を図るという認識でよいか。(横浜市)  
→ その認識のとおりである。(アビーム)
- 生活保護業務は、国から被保護者に関するデータを求められる機会が多いと認識しているため、調査に必要なデータの抽出機能について、生活保護システムへの実装を検討していただきたい。監査 WT で、調査に対する必要データの抽出などについて議論が想定されている場合は、監査 WT に参加することを検討したい。(東大阪市)  
→ 生活保護システムからのデータ抽出は監査 WT ではなく、内部帳票 WT の中で議論を行う想定である。(アビーム)
- 他システムとの連携方法について議論する WT の設置は検討しているのか。年金

システムや税システムとの連携は、生活保護業務の根幹を占めると認識しているため、検討を行っていただきたい。(新宿区)

→ 現状予定はないが、WTの中で、他システムとの連携が必要になった場合は、デジタル庁を交えて連携要件について調整を行う想定である。(アビーム)

○ 今年度の全国意見照会では、標準仕様書の大幅な改訂を予定していないという認識で良いか。(東大阪市)

→ ご認識のとおり、標準仕様書 1.1 版をもとに、ベンダが開発をスタートしていると認識しているため、過去の検討内容や標準仕様書の内容を大きく覆す改訂について照会することは想定していない。(アビーム)

#### ■ 議事(5)について

##### 【本日の議事全般に関連してのご意見・ご質問】

○ 生活保護受給者とマイナンバーの情報連携において、生活保護受給者で住民登録を行っていない者の割合、居住地以外で住民登録を行っている生活保護受給者の割合、住民登録を全く行っていない生活保護受給者の割合について、状況把握を行うことを検討していただきたい。(後藤氏)

→ 生活保護受給者とマイナンバーとの情報連携については、厚労省全体の方針をもとに実態把握を行うことを検討中である。(厚労省)

##### 【今年度の検討会・ワーキングで議論する課題等に関連するご意見・ご質問】

○ オンライン資格確認に関する議論はどの WT で行う想定か。(富士通 Japan 株式会社)

→ オンライン資格確認、国の動向、デジタル庁の横並び方針については、各省庁の検討状況をもとに、事務局で標準仕様書への反映作業を行う予定である。WT で取り扱う想定はないが、国の動向やデジタル庁の横並び方針、オンライン資格確認における、標準仕様書の改訂内容について、検討会の中で委員の皆様と共有を行っていききたい。(アビーム)

以上